

心理学的な支援と応用演習(社会心理学)	単位数	履修方法(授業形態)	配当学年
	2単位	SR(演習)	1・2年
	担当教員	吉田 綾乃	

■授業のテーマ

社会心理学の観点から現代社会における諸問題の生起メカニズムならびに解決法について考える。

■授業の目的

- 1) 偏見や差別、排斥行動、集団間の対立などに関連する社会心理学の代表的な理論を理解する。
- 2) 社会心理学の学術論文の講読を通して、社会心理学的な研究アプローチを理解する。

■授業の到達目標

- 1) 偏見や差別、集団間対立に関連する社会心理学の代表的理論について説明できる。
- 2) 具体的な事例について、その生起メカニズムを説明できる。
- 3) 具体的な事例について、その問題の解消方法について提案できる。
- 4) 関連領域の学術論文を批判的に読むことができる。

■授業の概要

現代社会は、性別や年齢、文化など、自分とは異なる他者に対する排斥や、集団間の対立などさまざまな問題が生じています。この授業では、これらの諸問題に対する社会心理学の代表的な理論について学びます。具体的には、システム正当化理論、存在脅威管理理論、モラルファンデーション理論など、近年、欧米で数多くの実証研究が行われている理論を取り上げます。また、理論に基づいて行われた実証研究を紹介する学術論文の講読を行い、現実的な問題に対する社会心理学的アプローチを学びます。現実的な諸問題が、どのようなメカニズムによって生じているのか、解決するためにはどのような方法が有効なのか、複眼的に考える目を養うことをめざします。

■スクーリング事前課題（学修時間の目安：8～10時間）

スクーリング前にテキストを必ず読んでください。また、関心のある問題について、新聞記事などの報道や統計資料などを集めておきましょう。Google Scholarなどのサイトを利用して、関心のある学術論文の検索も行ってください。スクーリング時には、それらの資料を持参してください。

■スクーリング授業計画（状況に応じて会場ではなくリモートで実施します）

	授業の内容	授業の方法
1	オリエンテーション	対面(リモート)
2	Dual-Process Theories 二過程理論	対面(リモート)
3	Social Identity Theory 社会的アイデンティティ理論	対面(リモート)
4	System Justification Theory システム正当化理論	対面(リモート)
5	Terror Management Theory 存在脅威管理理論	対面(会場)
6	Moral Foundations Theory モラルファンデーション理論	対面(会場)
7	Theory of Motivated Social Cognition 動機づけられた社会認知仮説	対面(会場)
8	学術論文の講読	対面(会場)

	授業の内容	授業の方法
9	学術論文の講読	対面(会場)
10	学術論文の講読	対面(会場)
11	学術論文の講読	対面(会場)
12	全体のまとめ	対面(会場)

■レポート課題

スクーリング 事後課題	スクーリング時に提示する学術論文を読み、その内容を踏まえて、差別や偏見、集団間の対立など現実的な問題の生起メカニズムと解決法について考察する。
----------------	---

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

レポートの書式は論文に準じてください。現代社会で実際に生じている具体的な問題（事例）をひとつ取り上げてください。序論を述べた後に、事例について明らかになっている事実を丁寧に説明してください。その上で、考察に用いる社会心理学的理論を紹介してください。レポートの読み手として、心理学の知識が無い人物を想定し、理論について説明することを心がけてください。そして、紹介した理論の観点から、事例の生起メカニズムと解消法について考察を行ってください。論理的な矛盾が生じることを避けるため、ひとつの理論的観点から生起メカニズムと解消法を論じると良いでしょう。事例に対する考察を通して、理論の限界や課題が明らかになった場合には、その点についても言及するようにしてください。

■評価の方法・基準

スクーリング時の参加度30%、事後課題レポート70%

■参考文献（*印=大学から送付される必読図書）

- * 1) S.T フィスク、S.E テイラー著 宮本聡介ほか編訳 2013年 『社会的認知研究 脳から文化まで』 北大路出版
- * 2) 北村英哉・唐沢 穰（編） 2018年 『偏見や差別はなぜ起こる？ 心理メカニズムの解明と現象の分析』 ちとせプレス
- 3) ファザーリ・M・モハダムほか編 2008年 『テロリズムを理解する 社会心理学からのアプローチ』 ナカニシヤ出版
- 4) 池上知子著 2012年 『格差と序列の心理学 平等主義のパラドクス』 ミネルヴァ書房
- 5) 脇本竜太郎著 2012年 『存在脅威管理理論への誘い 人は死の運命にいかにかに立ち向かうのか』 サイエンス社
- 6) ジョナサン・ハイト著 2014年 『社会はなぜ左と右にわかれるのか 対立を超えるための道徳心理学』 紀伊国屋書店
- 7) M.R. バナジほか著 2015年 『心の中のブラインド・スポット 善良な人々に潜む非意識のバイアス』 北大路書房
- 8) ジョルドン・ソロモンほか著 2017年 『なぜ保守化し、感情的な選択をしてしまうのか 人間の心の芯に巣くう虫』 インターシフト